

開講科目名 / Course	法学入門（日本国憲法）	
ターム・学期 / Term・Semester	2021年度 / Academic Year 前期	
開講区分 / semester offered	通年	
単位数 / Credits	2.0	
学年 / Year	1	
主担当教員 / Main Instructor	二宮 孝富	
担当教員名 / Instructor	二宮 孝富	
必修・選択 / compulsory subject	選択	
講義形態 / Class Type	講義	
科目の目的と概要	<p>法学の基礎知識について、近代市民法の基本原理を理解したうえで、市民生活にかかわりの深い、契約・損害賠償・家族に関する法を素材に、理解を深める。</p> <p>日本国憲法について、歴史的意義・基本原理をふまえ、特に人権に関する諸問題を学び、市民としての基本的な法的素養を身につけることを目的とする。</p>	
到達目標	1. 市民として、また、医療従事者として必要とされる基礎的な法的素養を身につける。	
DPとの対応	3.心豊かな人間性と倫理観	
授業計画	01. 近代市民法の基本原理 02. 市民生活と法 1 契約 03. 市民生活と法 2 損害賠償 04. 市民生活と法 3 結婚・離婚 05. 市民生活と法 4 親子・相続 06. 憲法とは～立憲主義について 07. 近代日本の憲法史 1大日本帝国憲法 08. 近代日本の憲法史 2日本国憲法 09. 日本国憲法の基本原理 1 国民主権 10. 日本国憲法の基本原理 2 平和主義 1 9条の歴史的意義 11. 日本国憲法の基本原理 2 平和主義 2 平和的生存権 12. 日本国憲法の基本原理 3 基本的人権の尊重 13. 人権各論 1 子どもの権利・児童虐待 14. 人権各論 2 高齢者虐待：成年後見制度 15. 人権各論 3 男女平等：男女共同参画社会基本法 16. 人権各論 4 ハラスメント：パワハラ・アカハラ・セクハラ 17. 人権各論 5 DV・デートDV 18. 人権各論 6 刑事手続と人権・冤罪 19. 人権各論 7 裁判制度 1 陪審制度 20. 人権各論 8 裁判制度 2 裁判員制度	
その他の授業の工夫	-	
時間外学修	次回の資料を事前に配布するので、予習して概要を把握しておくこと。 重点事項を課題として出すので、配布資料以外の関連資料にあたり、レポートを提出すること。	
評価方法と評価割合	出席状況10%、レポート30%、定期試験60%	
テキスト	なし（毎回資料を配布する）。適宜、参考文献を紹介する。	
参考書		
履修する上で必要な要件		
その他		
教員の実務経験	有・無	無
	内容	
教員以外で指導に関わる者の実務経験	有・無	無
	内容	
実務経験をいかした教育内容		